

部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

| | | | |
|------------|-------|-------------|------|
| 部局名 | 農林水産部 | 部局長名 | 切通幸生 |
|------------|-------|-------------|------|

| | | | | |
|---------------------------------|-------------|---------------------|-----------|----------|
| 部 局 の 経 営 資 源 | 当初予算 | 2 5 億円 | | |
| | 構成人員 | 職員 | 嘱託 | 計 |
| | | 4 7 人 (農業委員会を含む) | 7 人 | 5 4 人 |

| | | | |
|----------------------------|---|--------------|---|
| 部局の使命 (組織の存在価値) | <p>農林水産部の使命は、地域力を発揮し産業活力を創出するまちづくりを展開することである。</p> <p>農業の産地づくりを推進する。 畜産業の振興を強力に推進する。 農業生産基盤の整備を行う。 農村地域の特性を活かした住みよい生活環境を確保する。 自然環境に配慮した林道整備を推進する。 つくり育てる漁業を推進する。 水産業担い手を育成確保する。 漁港及び漁場の整備を充実する。 農林水産物及び加工特産品のブランド化を推進する。</p> | 組織目標像 | <p>【施策の目標像】 農林水産施策の充実 新たな農業施策への取組を確立 畜産業の向上と生産基盤の確立 基盤整備と農業用施設の維持管理を充実 農村環境保全向上活動支援の確立 健全な森林整備の実現 水産物地方卸売市場整備の可能性調査を実施 農地の有効利用</p> <p>【組織の目標像】 産業活力をさらに創出するため組織体制の強化 市民の目線に立った、農林水産業務の向上 畜産振興体制の充実 農業委員会組織の機能充実</p> |
|----------------------------|---|--------------|---|

平成 2 0 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

| 重点事項 | 具体的な成果目標 (めざそう値) | 具体的な取組内容 | 進捗状況 (年度中間) | 年度末の達成状況 |
|-------------|--|---|---|--|
| 加工特産品開発事業 | 特産品コンクール入賞品 6 品 市長賞 (第 1 ~ 3 回) 3 品 | 特産品コンクールの実施 商談会への参加 (東京) | ・特産品コンクール入賞品 6 品 | ・特産品コンクール入賞品 6 品 ・商談会への参加 3 品 |
| 担い手育成総合支援事業 | 認定農業者 7 名 集落営農組織 1 団体 農用地利用改善団体 2 団体 | 経営能力向上講習会 先進的経営体現地研修 経営改善支援 戸別巡回指導 | ・先進的経営体現地研修 (園芸部門: 静岡県) ・経営改善支援巡回指導 (1 8 件) ・認定農業者新規 1 3 件, 再認定 7 件 | ・先進的経営体現地研修 (茶部門: 静岡県, 果樹部門: 宮崎県) ・経営改善支援巡回指導 (8 4 件) |

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

| | | | | |
|------------------|---|---|--|---|
| | | | ・集落営農周知活動 18団体 | ・認定農業者8名(新14件,再17件,辞6件) ・集落営農周知活動 18団体38回 |
| 耕作放棄地解消対策事業 | 優良農地の遊休化の解消 | 耕作放棄地解消研究会の設立 | ・研究会設置に向けた担当者会(11月7日)開催準備 | ・耕作放棄地対策協議会の設立(20年12月)及び解消計画策定 |
| 新エネルギー対策事業 | 未利用資源や廃棄物の利活用 地球温暖化防止対策 | バイオマス事業研究会の活動の充実 | ・市バイオマス研究会(11月4日)開催準備 | ・研究会の開催とNPO及び鹿大との連携によるバイオマスシンポジウムへ参加 |
| 農業振興地域整備計画策定業務事業 | 農業振興地域整備計画策定目標 平成21年3月 | 計画の全体的な見直しに伴う計画書及び図面作成業務 | ・除外編入図面等作成(7月) ・意見交換会の開催(8~9月10会場) | ・農業振興地域整備計画策定 4,183ha |
| 重点7品目農産物の振興 | かごしまブランド産地の指定(1品目) かごしまの農林水産物認証制度の認証(1品目) | 園芸作物振興施設設置事業実施 園芸作物優良種苗導入事業実施 きんかん・ごぼう販売促進(東京・大阪) | 事業完了 園芸作物振興施設設置事業:きんかん,補助金5,941,708円 園芸作物優良種苗導入事業:さといも,生姜,補助金204,200円 | ・園芸作物振興施設設置事業実施(きんかん,ごぼう) ・園芸作物優良種苗導入事業実施(らっきょう,いちご,やまのいも,生姜,さといも) ・きんかん販売促進(東京・大阪) ・ごぼう販売促進(東京・名古屋・大阪・福岡) |
| 唐浜らっきょう生産振興 | 現状30haの作付けに対して, H20年目標, 32haに向け新規栽培者の拡大を図る。 安定経営による企業参入の促進を図る。 | 公社研修生(3期生)による作付け(1ha) 農業公社直営による経営(地元雇用による地域の活性化) 担い手農家を対象に先進地研修を実施する。 | 完了 6月:担い手農家先進地研修(鳥取県鳥取市) 20年栽培面積:32ha うち研修生 1.7ha うち公社 1.8ha 企業参入促進研修8月 | ・担い手農家先進地研修(鳥取県鳥取市) ・20年栽培面積32ha うち研修生 1.7ha うち公社 1.8ha ・企業参入促進研修8月実施 |

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

| | | | | |
|--------------------|-----------------------------|---|---|---|
| ポジティブリスト制度の推進 | 農薬飛散防止の徹底 農産物の生産管理指導 | 農業関係機関との連携強化 座談会・広報誌等での周知 防除組合・農薬店への指導の徹底 | 現地検討会：15品目計45回実施 広報誌：6月6日号 農薬店巡回：4月10日～11日 嘱託員個別巡回 4月～10月：4351人 | <ul style="list-style-type: none"> ・現地検討会15品目計60回実施 ・広報誌：6月6日号 ・農薬店巡回 4月10日～11日 ・嘱託員個別巡回 7,500人 |
| 畜産農家の経営安定 | 資金対応と経営指導の実施 認定農家の育成 | 資金対応と経営指導の実施 認定農家、後継者育成の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・認定農家の新規加入1名 ・畜産後継者の就農相談1名 | <ul style="list-style-type: none"> ・認定農家の新規加入6名 ・就農認定1名 |
| 肉用牛の増頭 | 肉用牛飼養頭数の増加 優良雌牛の確保：130頭 | 家畜導入基金活用による飼養頭数の増頭 優良家畜保留導入助成事業の活用による優良雌牛の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・肉用牛貸付事業による家畜導入46頭 ・優良家畜保留導入助成事業による家畜導入の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・優良牛導入資金貸付基金30頭 ・特別導入事業基金36頭 ・優良家畜保留導入助成事業による家畜導入の推進93頭 |
| 家畜伝染病の発生防止と環境保全の徹底 | 家畜伝染病発生ゼロ 環境苦情ゼロ | 家畜防疫対策事業の徹底 畜産環境保全の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・子牛注射や異常産注射の実施 ・家畜伝染病の発生ゼロ | <ul style="list-style-type: none"> ・子牛注射や異常産注射の実施 ・家畜伝染病の発生ゼロ |
| 肉用牛生産農家の経営安定 | 肉用牛生産農家の所得向上 | 子牛育成指導の徹底 子牛預かり施設の有効活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員及び畜産業務嘱託員による牛育成指導の実施 ・子牛価格は下落傾向にあるが、薩摩地域は他地域より高値で推移 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員及び畜産業務嘱託員による牛育成指導の実施 ・子牛価格は下落傾向にあるが、薩摩地域は他地域より高値で推移 |
| 肉用牛肥育農家の経営安定 | 肉用牛肥育農家の所得向上 薩摩川内牛のPRの推進 | 肥育素牛導入基金活用の推進 薩摩川内牛のPRの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・肥育素牛導入基金による導入6頭 ・和牛導入緊急支援事業補助金の導入検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・肥育素牛導入基金による導入10頭 ・貸付限度の拡大(H21年度から57頭) ・和牛導入緊急支援事業補助金の導入 |

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

| | | | | |
|--------------|---|--|--|---|
| 畜産経営基盤の強化 | 規模拡大等による畜産経営基盤の強化 | 畜産施設整備事業の推進 畜産基盤再編総合整備事業の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・畜産施設整備事業の推進 ・北薩地域振興局，県地域振興公社及び農家と連携を図りながら事業を推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・畜産施設整備事業による施設設備等の整備 ・畜産公共事業による施設整備 |
| 甌地域における畜産の振興 | 甌地域における肉用牛の推進 | 草地林地一体的利用総合整備事業の推進 甌畜産物地産地消促進補助金の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・北薩地域振興局，県地域振興公社と連携を図りながら地元説明会や現地調査を実施 ・甌畜産物地産地消促進補助金の活用による地産地消を推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・北薩地域振興局，県地域振興公社と連携を図りながら地元説明会や現地調査を実施 ・甌畜産物地産地消促進補助金の活用による地産地消を推進 |
| 森林整備の推進 | 間伐目標面積 300ha 森林づくり推進員活動 目標 41人 延べ 738日 基盤整備目標 作業路 500m 集材路 5,500m | 地域ぐるみの間伐等森林整備 基盤整備として作業路，集材路の開設 | <ul style="list-style-type: none"> ・間伐実施面積 22ha (7 %) ・森林づくり推進員活動 65日 (9 %) ・基盤整備 (県内示) 作業路：800m 集材路：2,365m 補助申請済み。 | <ul style="list-style-type: none"> ・間伐実行面積 330ha ・森林づくり推進員活動実績 38人 延べ 684日 ・基盤整備 作業路 800m 集材路 2,365m |
| 特用林産の振興 | <ul style="list-style-type: none"> ・早堀たけのこの生産性の向上 竹林改良 7.0ha 管理路 1,000m ・たけのこ以外の特用林産物の掘りおこし | <ul style="list-style-type: none"> ・伐竹・刈払，畑面整理，施肥等 基盤整備として管理路の開設 ・特用林産物の掘りおこしのための検討 ・関係者からの意見徴集 | <p>県内示 竹林改良：4.70ha 管理路：350m 補助申請済み。 掘り起こし，意見徴収は，1月実施予定。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・早堀たけのこの生産性の向上 竹林改良 4.7ha 管理路 385m 動力噴霧器 8台 ・たけのこ以外の特用林産物の掘りおこし 鹿島つばき植栽地草刈 約 6,000㎡ (ツバキ 865本) |
| 林道の整備・促進 | 市施行の林道事業 林道開設 3路線 | 地域森林計画に基づく林道整備 | 市施行の林道事業 林道開設の3路線(津田鬼川内線， | 市施行の林道事業 林道開設 3路線 |

部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

| | | | | |
|----------------|---|---|--|---|
| | <p>県施行の林道事業 林道開設 2 路線</p> | | <p>新ヶ倉 1 号線, 大平良線) は, 全て 発注済み。 ・県施行の林道事業 林道開設の 2 路線 (横座線, 上ノ 郡 1 号支線) は, 全て発注済み。</p> | <p>新ヶ倉 1 号線 (樋脇) 幅員 4.0m 延長 340m 津田鬼川内線 (東郷) 幅員 4.0m 延長 230m 大平良線 (里) 幅員 4.0m 延長 92m ・県施行の林道事業 林道開設 2 路線 横座線 (城上・東郷) 幅員 4.0m 延長 500m 上ノ郡線 (祁答院) 幅員 3.5m 延長 840m</p> |
| <p>山地災害の防止</p> | <p>県費単独補助治山事業 1 0 箇所</p> | <p>治山事業の実施</p> | <p>県内示 (2 箇所) 測量設計委託終了 補助申請済み 発注準備</p> | <p>・県費単独補助治山事業 4 箇所 湯島町柳丸地区 水引町馬籠地区 入来町浦之名地区 樋脇町市比野地区</p> |
| <p>水産資源の再生</p> | <p>甌島地域水産資源再生調査 ・甌島沿岸の新たな水産資源の掘り起こし ・藻場再生のための造成試験 ・有用魚介類を対象とした魚礁の検討</p> | <p>民間のシンクタンクへ委託 漁業関係者や学識経験者等からなる検討委員会開催 報告書作成</p> | <p>平成 20 年 6 月 23 日 委託契約 平成 20 年 7 月 26 日 第 1 回検討委員会</p> | <p>甌島地域水産資源再生調査 ・甌島沿岸の新たな水産資源の掘り起こし ・藻場再生のための造成試験 ・有用魚介類を対象とした魚礁の検討 民間のシンクタンクへ委託 漁業関係者や学識経験者等からなる検討委員会開催 報告書作成</p> |

部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

| | | | | |
|-------------------------|---|---|---|---|
| <p>流通体制の構築</p> | <p>薩摩川内市水産物流通拠点施設 (市場等)可能性調査 ・市場,直販施設,加工施設,冷 凍庫,レストラン等の可能性調査</p> | <p>川内・甕島地域の魚介類の流通体制 強化と地産地消の促進を図るため の拠点施設の可能性調査</p> | <p>平成 20 年 5 月 16 日 鹿児島大学産学官連携機構と委託契 約 平成 20 年 7 月 28 日 第 1 回検討委員会</p> | <p>薩摩川内市水産物流通拠点施 設(市場等)可能性調査 市場,直販施設,加工施設, 冷凍庫,レストラン等の可能 性調査 鹿児島大学へ委託 検討会の実施 報告書完成</p> |
| <p>魚食普及の促進</p> | <p>【お魚まつり目標】 開催回数 年 1 回(10月) 来場者数 30,000 人</p> <p>【とれたて市目標】 開催回数 年 11 回(毎月) 来場者数 年 22,000 人</p> | <p>川内市漁協 甕島漁協及び川内市内 水面漁協で構成されるお魚まつり 実行委員会への人的・資金的支援</p> <p>川内市漁協及び甕島漁協で構成さ れるとれたて市への人的支援・資金 的支援</p> | <p>・【お魚まつり】 実行委員会開催 5 回 (平成 20 年 4 月 17 日) (平成 20 年 7 月 23 日) (平成 20 年 8 月 27 日) (平成 20 年 9 月 11 日) (平成 20 年 10 月 6 日) 平成 20 年 10 月 12 日 開催 来場者数 34,000 人</p> <p>・【とれたて市】 5 回開催 毎月第 4 土曜日 (平成 20 年 4 月 26 日) (平成 20 年 6 月 28 日) (平成 20 年 7 月 26 日) (平成 20 年 8 月 23 日) (平成 20 年 9 月 27 日) 来場者数 3,000 人</p> | <p>・【お魚まつり】 実行委員会 6 回実施 開催日平成 20 年 10 月 12 日 (日) 来場者数 34,000 人</p> <p>・【とれたて市】 H20 年 4 月～H21 年 3 月 1 0 回開催 来場者数 4,800 人</p> |
| <p>市単土地改良事業の 実施</p> | <p>農道の改良・舗装・揚水ポンプ等 修繕</p> | <p>農道・水路等の改良及び維持修繕 農道舗装工事 薩摩田地区過疎基幹農道計画設計 委託</p> | <p>各事業とも危険箇所及び地元要望箇 所を優先的に事業実施中</p> | <p>・各事業とも危険箇所及び地 元要望箇所を優先的に事業実 施</p> |

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

| | | | | |
|--------------------------|--|---|--|--|
| 県単土地改良事業の導入 | 農業生産基盤の整備1地区 (大山ノ口2期地区) | 農道改良舗装工事の実施 | 11/5 入札済(事業実施中) | ・事業完了 |
| 県営農業農村整備事業の推進 | 湛水防除事業(隈之城地区)外6地区 | ため池等整備・中山間地域総合整備・農村振興総合整備・農業用河川工作物応急対策の実施・湛水防除・基幹水利施設ストックマネジメント事業 | 各事業, 県と協議を行い事業実施中 | ・事業完了地区を除き県と協議を行い事業実施 |
| 土地改良・湛水防除施設の維持管理適正化事業の実施 | 戸田排水機場ポンプ点検整備3台 排水機場維持管理 | 排水機場ポンプの分解・点検の実施 排水機場の運転管理及び施設の維持補修 | ポンプ分解・点検は設計施工中・維持補修箇所は故障箇所を随時整備中 | ・ポンプ分解・点検を実施した。 ・維持補修箇所についても, 整備を行った。 |
| 農地・水・農村環境保全向上活動支援事業の実施 | 活動地区28地区 目標面積1,500ha | 遊休農地発生防止, 用排水路施設・農道等の保安全管理, 生態系保全等への取り組み | 活動地区28地区・面積1,531ha で事業実施中 | ・活動地区29地区・活動面積1,531haで事業を実施 |
| 土地改良区合併の推進 | 土地改良区の合併目標年次 合併目標平成21年4月 | 薩摩川内土地改良区合併推進準備委員会の開催と支援 | 平成20年12月土地改良区合併の認可に向けて土地改良区合併委員会等を開催中 | ・平成20年12月24日合併認可を受け, 薩摩川内市土地改良区が誕生した。 |
| 農地流動化の推進 | 年間目標面積107ha 内 訳 本土農業委員会 105ha 甌農業委員会 2ha | 農業委員・流動化推進員や農業公社による掘り起こし活動を展開 農地流動化促進補助金を活用し, 貸し手・借り手に対する農地の利用権を設定 | 9月30日現在 農地流動化補助金 3,911,300円 流動化面積 54ha | ・流動化面積101.7ha 農地流動化補助金 8,523,200円 3月30日現在 |
| 年度中間総括 | 地域力を発揮し産業活力を創出するまちづくりを展開するため, 重点事項の具体的な成果目標達成に向けて取り組んでおり, 既に, 唐浜らっきょう生産振興については目標を達成している。その他, 各重点事項についても, ほぼ順調に事業が進行しているが, 今後さらに事業への取り組みを強化していくこととしている。 | | | |
| 年度末総括 | 地域力を発揮し産業活力を創出するまちづくりを展開するため, 重点事項の具体的な成果目標達成に向けて取り組んだ結果, 全ての重点事項について, 成果があり, 部局の使命である9つの項目については次のとおりである。 | | | |

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

農業の産地づくりを推進した。
畜産業の振興を強力に推進した。
農業生産基盤の整備を行った。
農村地域の特性を活かした住みよい生活環境を確保した。
自然環境に配慮した林道整備を推進した。
つくり育てる漁業を推進した。
水産業担い手を育成確保した。
漁港及び漁場の整備を充実した。
農林水産物及び加工特産品のブランド化を推進した。